

令和7年度

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 事業報告

令和7年度も物価の高騰が続き、中東情勢の影響もあり、燃料代や生活必需品の価格上昇が家計を圧迫し、低所得世帯や生活に困窮する世帯の多くの人々の生活は依然として厳しい状況が続いていております。

生活困窮者対策としては、生活支援や就労支援等自立支援事業及び生活福祉資金貸付者に対するフォローアップ支援を行い、生活困窮者の自立支援に努めました。また、生活支援体制整備事業として、「地域のお宝発見」として各地区の好事例をPRし、地域の課題抽出や住民主体の取り組みを推進し、だれも取り残さない支え合い活動「地域共生社会」の実現に向け取り組んでまいりました。

災害対応としては、昨年に引き続き、地域で災害に備えるために、災害発生時に使用する蓄電池や非常用トイレの配布を行いました。また、近年、地域社会のつながりの希薄化が課題となっているため、ボランティア活動や地域活動への参加を促す取り組みなど、各種事業を実施しました。

なお、「シルピア」で実施している介護保険事業及び「ひばりの」で実施している障害者自立支援等事業については、事業所PR等利用者増に努めましたが、収益増とはなりませんでした。

【重点目標に対する経過報告】

1. 生活支援体制整備の推進

第2層の日常生活圏域（中学校区）において、定期的に住民主体による協議体（話し合いの場）を開催し、支え合いの仕組みづくりに取り組みました。また、7年度は「地域のお宝発見」と題して、地域のつながりの好事例のHP掲載や講演会で事例発表することで、安心して暮らせる地域づくりに努めました。

2. 生活困窮者自立支援の充実（生活に困窮する世帯への支援）

関係機関（市、ハローワーク等）と連携を図りながら、対象者のかかえる住居、就労、家計、生活などの諸問題を包括的に対処し、自立に向けた支援を行いました。また、生活福祉資金貸付者のフォローアップ支援として訪問や電話による相談支援に取り組みました。

3. 権利擁護活動の充実、成年後見制度の利用促進

制度への基礎知識の向上や関係者の理解促進を図るため、成年後見制度に関する研修会の開催や制度の利用方法等に関するパンフレットを作成し、事業の周知と推進を行いました。

4. 介護保険事業や障害者総合支援法に基づく事業の推進と安定した事業の継続

介護保険事業は、介護予防の利用者が増加しましたが、要介護利用者の伸びがみられず、収益増とはなりませんでした。障害者の事業は、定員を制限した結果、収益増を確保できました。

5. 事業推進のための財政基盤の強化と健全経営

実施事業のチラシを作成し社協会費の確保や地域福祉活動の周知を図るとともに、赤い羽根共同募金活動を積極的に推進し、活動財源の強化に努め、市の委託事業等にも積極的に取り組みました。

また、職員、嘱託職員、臨時職員の就業規程を改正し、働きやすい環境整備に努めました。

【法人運営・管理】

1. 総務部門

(1) 理事会・評議員会等の開催

① 理事会

回数	開 催	会 場	議 事
1	令和7年 6月17日	下妻市役所	・ 令和7年度会計収入支出補正予算（第1号）（案）について ・ 理事及び監事の推薦について ・ 評議員候補者の推薦について ・ 令和6年度事業報告について ・ 令和6年度会計収入支出決算について ・ 監事の監査報告について ・ 定款の一部改正について ・ 下妻市心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について ・ 下妻社協ケアセンター生活介護事業運営規程の一部改正について ・ 定時評議員会の招集について ・ 会長及び常務理事の職務執行状況について
2	令和7年 7月3日	下妻市役所	・ 下妻市社会福祉協議会会長・副会長（2名）及び常務理事の選任について ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任について
3	令和8年 2月24日	下妻市役所 旧第二庁舎	・ 専決処分の報告について「職員就業規程及び嘱託職員就業規程の一部改正について」 ・ 会長及び常務理事の職務執行状況について ・ 令和7年度会計収入支出補正予算（第2号）（案）について ・ 職員就業規程の一部改正について ・ 嘱託職員就業規程の一部改正について ・ 臨時職員就業規程の一部改正について ・ 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・ 理事の推薦について ・ 評議員の推薦について ・ 令和8年度事業計画（案）について ・ 令和8年度会計収入支出予算（案）について ・ 役員等賠償責任保険契約の締結について ・ 評議員会の招集について

②評議員会

回数	開 催	会 場	議 事
1	令和7年 6月27日	下妻市役所	・ 令和6年度事業報告について ・ 令和6年度会計収入支出決算について ・ 令和7年度会計収入支出補正予算（第1号）（案）について ・ 理事及び監事の選任について ・ 定款の一部改正について ・ 下妻市中心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について ・ 下妻社協ケアセンター生活介護事業運営規程の一部改正について
2	令和8年 3月11日	下妻市役所 旧第二庁舎	・ 専決処分の報告について「職員就業規程及び嘱託職員就業規程の一部改正について」 ・ 令和7年度会計収入支出補正予算（第2号）（案）について ・ 職員就業規程の一部改正について ・ 嘱託職員就業規程の一部改正について ・ 臨時職員就業規程の一部改正について ・ 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・ 理事の選任について ・ 令和8年度事業計画（案）について ・ 令和8年度会計収入支出予算（案）について

③評議員選任・解任委員会

回数	開 催	会 場	議 事
1	令和7年 6月25日	下妻市役所	・ 評議員の選任について
2	令和8年 3月2日	下妻市役所 旧第二庁舎	・ 評議員の選任について

(2) 苦情解決体制の強化

施設内へのポスター掲示により、利用者への制度の周知を図りました。

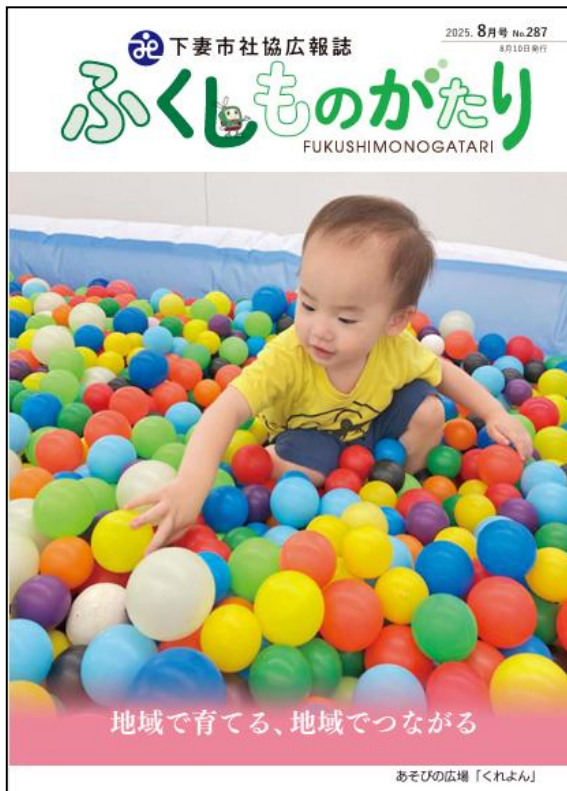
事業所名	苦情件数	対応中件数	解決件数	未解決件数
砂沼荘	0 件	0 件	0 件	0 件
社協ケアセンター	0 件	0 件	0 件	0 件
ひばりの	0 件	0 件	0 件	0 件
事務局	0 件	0 件	0 件	0 件

(3) 広報・啓発活動

①広報紙「ふくしものがたり」の発行

市内福祉情報の発信を目的に、広報紙「ふくしものがたり」を年 4 回発行しました。また紙面の構成や掲載写真等を工夫し、わかりやすく関心を持っていただける紙面づくりに努めました。

内 容	発 行	配布先
社協広報紙「ふくしものがたり」	年4回（286号～289号）	市内全戸



社協広報紙「ふくしものがたり」

②ホームページ

ホームページを活用し下妻市社協の実施事業や地域福祉に関する情報、災害時の義援金など市民に向けて情報発信に努めました。



社協ホームページ

③その他の広報

誰もが情報を得やすい発信方法としてXやLINEなどのSNSを活用し、下妻市の地域福祉に関する様々な情報を随時発信しました。



社協X

(4) 会員増強運動の実施

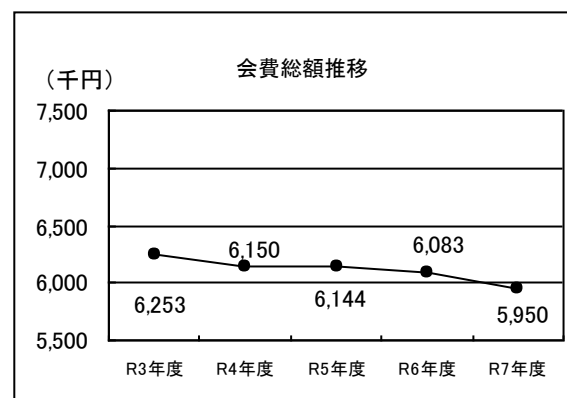
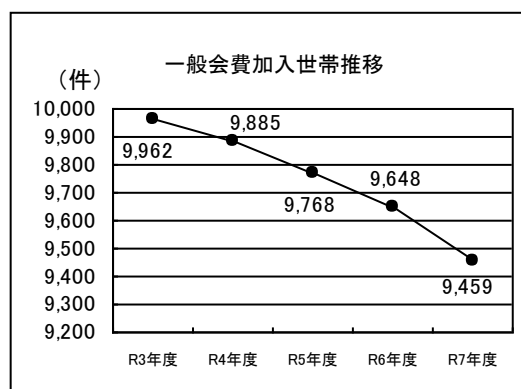
会費を財源とする事務事業を明確にした予算編成、執行管理を行いました。

＜説明会等の開催＞

種類	開催	会場	内容	対象者
一般会費	郵送にて各自治会に依頼		取りまとめ依頼 取扱説明	支部推進員
特別会費	5月30日	下妻公民館		支部代表者

＜加入実績＞

種類	会員数	会費額	対目標額
一般会費	9,459世帯	4,730,500円	96.8%
特別会費	231件	1,220,000円	102.4%
計	—	5,950,500円	97.9%



(5) 全国社会福祉大会・茨城県社会福祉大会における表彰

地域福祉の進展に資するため、市内福祉事業に功労のあった方や団体等に対し、中央共同募金会会長、茨城県知事、茨城県社会福祉協議会会長及び茨城県共同募金会会長より表彰が行われました。

＜令和7年度全国社会福祉大会における受賞者数＞

区分	人数
厚生労働大臣表彰	個人 1名

＜第75回茨城県社会福祉大会における受賞者数＞

区分	人数
茨城県知事表彰	個人 4名
茨城県社会福祉協議会会長表彰	個人 11名

2. 労務管理部門

(1) 職員研修の実施

社協の自主研修の他、下妻市役所、全国・茨城県社会福祉協議会等主催の研修会に参加しました。

研 修 内 容
下妻市災害ボランティアセンター運営訓練、「災害初動期対応チーム」ステップアップ研修、企業×災害ボランティアセンターを考える勉強会、茨城県内社協職員新任・初級研修、社会福祉法人連携研修会、同和問題・人権問題基礎講座 ほか

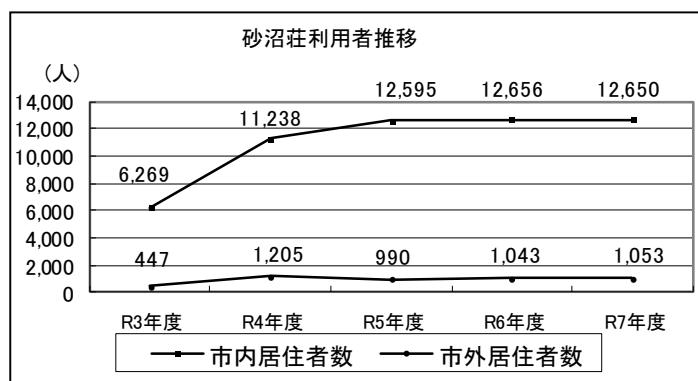
(2) ストレスチェックの実施

メンタルヘルス不調を未然に防止することを目的に、全職員を対象にストレスチェックを実施しました。(44 人実施)

3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

①福祉センター「砂沼荘」

区 分	利用者数
市内居住者	12,650 名
市外居住者	1,053 名
計	13,703 名



子供から高齢者まで利用できる健康増進施設として、下記の講座を開催しました。

講座名	開催日	延べ参加人数
親子リトミック	毎月 第 1 火曜日	54 組 126 名
健康体操教室	毎月 第 1・第 2・第 3 水曜日 第 2・第 3・第 4 火曜日	2,502 名
シルバーリハビリ体操教室	毎月 第 3 火曜日	149 名
スクエアステップ教室	毎月 第 2・第 4 火曜日 第 2・第 4 水曜日	1,167 名
脳(のう)活(い)きいき教室	毎月 第 1 火曜日 第 1 水曜日	410 名
男性のための筋トレ	毎月 第 3 水曜日	196 名
健康&美活・ヨガ教室	毎月 第 4 水曜日	362 名
	計	4,912 名

②下妻市福祉センター「シルピア」 ③下妻市中心身障害者福祉センター「ひばりの」福祉センターとして、市民や団体の利用はありませんでした。

4. 災害・緊急支援事業

<火災見舞金>

件 数	金 額
4 件	110,000円

<行路人旅費>

件 数	金 額	償 還
0 件	0円	0円

5. 共同募金関係

(1) 共同募金運動への協力

社協が自主的に行う事業の重要な財源となっている赤い羽根共同募金運動は、茨城県共同募金会との申し合わせ事項に基づき、下妻市共同募金委員会の業務として全面的に協力し事業を展開しました。



【地域福祉事業】

1. 相談支援・権利擁護部門

(1) 心配ごと相談事業（市受託事業）

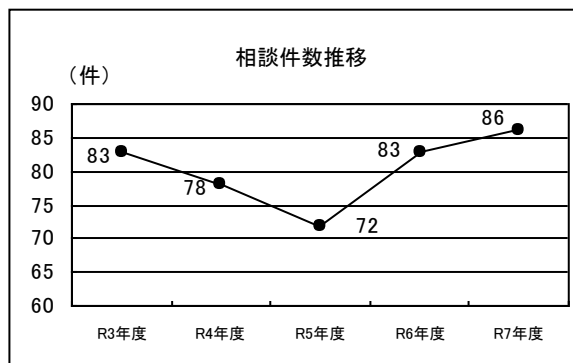
法律相談を毎月3回開催しました。

＜実績報告＞

開催	件数
年間35回 (第2・3・4火曜)	86件

※弁護士3名・相談員8名

未開催1回（予約なしのため）



(2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

① 生活福祉資金貸付事業

相談者の生計維持、自立支援を目的に茨城県社会福祉協議会からの助言をいただき、延べ51件の相談に対し2件が新規貸付となりました。

資金種類	昨年度末	新規	完済等	本年度末	滞納
1 福祉資金					
福祉費	6	0	1	5	3
緊急小口資金	5	0	0	5	5
2 教育支援資金					
教育支援費	10	1	0	11	4
就学支度費	11	1	0	12	4
3 総合支援資金					
生活支援費	20	0	2	18	15
住宅入居費	0	0	0	0	0
一時生活再建費	1	0	0	1	0
4 不動産担保型生活資金					
一般世帯向け	1	0	0	1	0
要保護世帯向け	1	0	0	1	0
5 臨時特例つなぎ資金					
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0
計（件）	55	2	3	54	31

②新型コロナウイルス生活福祉資金特例貸付（県社協受託事業）

償還免除、連絡のつかない借受人を中心に、潜在化する生活課題を把握し必要な支援につなげるため、訪問による活動に力点を置きフォローアップ支援を行いました。

<フォローアップ支援実績>

借受人の状況	窓口	架電	受電	訪問	合計
償還免除・承認	9名	88名	6名	92名	195名
償還免除・不承認	60名	144名	4名	8名	216名
償還免除・未応答	11名	0名	0名	31名	42名
合計（件）	80名	232名	10名	131名	453名

<フォローアップ支援 対応状況>

支援内容	件数	支援内容	件数
自立相談支援機関へのつなぎ	2名	小口資金貸付	0名
償還猶予案内・申請	88名	食料支援	5名
償還免除案内・申請	42名	不通、不在	282名
少額返済案内	6名	その他	28名

(3)小口資金貸付事業

償還に遅れのある世帯の生活状況の把握に努め、償還相談や必要なサービスへのつなぎ等の支援を行いました。

内 容	件数（延）	金 額	完済件数
貸 付	39件	842,000円	42件
償 還	137件	959,000円	

※R8.3.31 現在 未償還金額 5,476,911円（前年比 -117,000円）

(4)日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

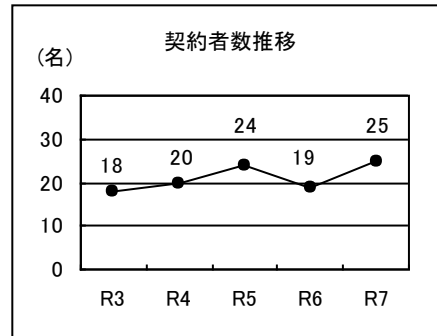
- ・35件の相談のうち9件が新規契約となり、専門員2名、生活支援員6名が延べ374回の支援を行いました。
- ・複合的な課題を抱えたケースでは、多職種間で情報を共有し連携しながら相談者の意思決定を尊重した権利擁護支援に努めました。

<研修会・会議への参加>

開催日	内 容
5.20(火)	新任専門員研修会（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）
11.17(水)	生活支援員研修（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）
12.24(水)	専門員会議・研修（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）

<契約状況>

ケース	前年度末	新規 契約	解約	本年度末
認知症高齢者	11名	9名	1名	19名
知的障害者	4名	0名	2名	2名
精神障害者	4名	0名	0名	4名
計	19名	9名	3名	25名



<契約者居所>

居 所	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
在 宅	16名	2名	3名	21名
施 設	3名	0名	0名	3名
病 院	0名	0名	1名	1名
グループホーム	0名	0名	0名	0名
計	19名	2名	2名	25名
生活保護受給者(再掲)	(9名)	(0名)	(2名)	(11名)
書類預かり(再掲)	(3件)	(1件)	(1件)	(2件)

(5) 成年後見制度事業（市受託事業）

- ・中核機関による成年後見制度関係者向け研修会及び市民向け研修会を開催し、制度の利用促進、事業の周知を図りました。
- ・身寄りのない高齢者等を支える新たな事業について、積極的に研修会へ参加し情報収集に努めました。

<受任状況>

類型	新規 受任	終了	本年度末
後見	0名	0名	0名
保佐	1名	0名	1名
補助	0名	0名	0名
計	1名	0名	1名

<会議開催状況>

項目	回数
受任審査会議※	1回
受任調整会議※	1回
権利擁護支援 チーム会議	1回
計	3回

※同日開催

(6) 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

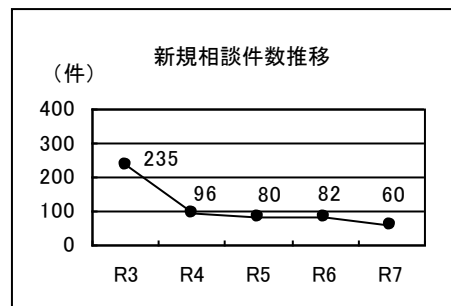
様々な困りごとに寄り添い、相談者の自立促進を図るため、就労支援や家計改善、居住支援等、個々の生活状況に応じて包括的な支援を行いました。

<相談実績>

事業名	実人数	延件数
自立相談支援事業	60 件	538 件

<サービス別実績>

事業名	実件数	プラン作成数	延べ利用期間
住居確保給付金	3 件	7 件	20 ヶ月
就労準備支援事業	1 件	1 件	2 ヶ月
家計改善支援事業	15 件	9 件	72 ヶ月
一時生活支援事業	8 件	8 件	21 ヶ月



(7)学習支援事業（市受託事業）

①寺子屋

- ・通常開催の他、8月の夏休み期間中に教員 OB や大学生に協力いただき、宿題お助け隊として週 3 回実施しました。
- ・オセロなどのボードゲームを購入し、学習終了後に児童同士が交流できるよう取り組みました。

内 容	実人数	延人数	開催回数
利用者	19 名	232 名	46 回
ボランティア	11 名	89 名	

②にこにこ学習塾

- ・市内在住の生活保護世帯、就学援助費受給世帯の中学 1 年生から 3 年生を対象に受験や定期テストに向けた学習支援を行いました。
- ・利用者 10 名のうち 3 年生全員（3 名）が志望校に合格しました。
- ・共同募金の財源を活用し、持ち帰りのできる飲み物やパンなどの軽食を配布しました。

内 容	実人数	延人数	開催回数
利用者	10 名	150 名	43 回
ボランティア	21 名	113 名	

(8)無料職業紹介事業

6 事業所から新規の求人登録があり、生活困窮者自立支援事業と連携し新たに 4 名を就職先につなげることができました。

求人				求職		就職		
有効 求人数	求人数			有効求 職者数	新規 申込	常用	臨時	日雇
	常用	臨時	日雇					
19 名	18 名	0 名	0 名	0 名	4 名	4 名	0 名	0 名

(9) 緊急生活援助事業

実績はありませんでした。

(10) 法人連携事業

- ・ 高い公益性と専門性を有する社会福祉法人同士が連携し、多様化する地域課題を解決するための新たな取り組みについて、市内の 5 法人（高齢部門）を訪問し意見交換を行いました。
- ・ 法人同士の顔合わせも兼ねた情報交換会を実施し、継続的に情報共有を行い、地域課題に取り組んでいく事で共通理解を図りました。

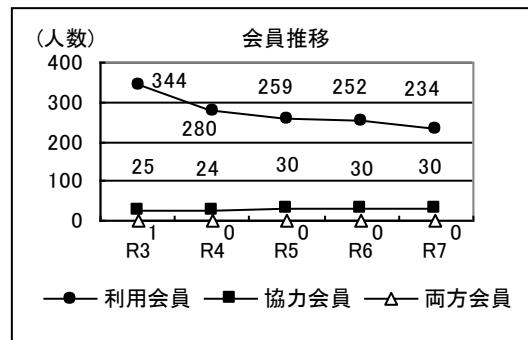
2. 地域福祉活動推進部門

(1) ファミリーサポートセンター事業（うえるきっず含む）市受託事業

- ・ 広報紙や研修会開催時において、事業の周知と会員の増員に努めました。
- ・ 交流会や研修会を開催し、協力会員の活動しやすい環境を整えました。
- ・ 社協移転に伴い令和7年10月より、託児室「うえるきっず」を会員以外の親子も自由に遊べる場とし『あそびの広場』に名称を変更しました。

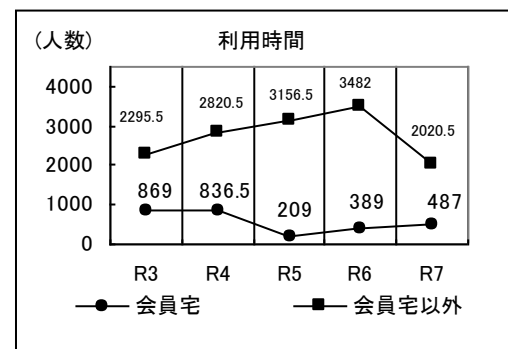
<会員状況>

会 員	前年度末	増	減	本年度末
利用会員	252 名	19	37	234 名
協力会員	30 名	0	0	30 名
両方会員	0 名	0	0	0 名
計	282 名	19	37	264 名



<活動実績>

実活動者	延活動者	活動時間
16 人	149 人	2344.5 時間



<利用実績> *利用者数：子ども数

		実利用者	延利用者	利用時間
保育サービス	会員宅での保育	9 人	157 人	487 時間
	会員宅以外の保育 (あそびの広場等)	55 人	346 人	1796.5 時間
送迎含む一時預かりサービス		3 人	117 人	224 時間

<利用内容>

内 容	7 年度	前年度
保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	0 件	10 件
学童の迎え及び預かり	2 件	68 件
放課後学童クラブからの児童の迎え及び預かり	111 件	101 件
学校休みの時の預かり（夏休み・土日など）	119 件	144 件
協会会員自宅預かり後うえるきっずでの預かり	4 件	4 件
保育園入所前の援助	30 件	106 件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	129 件	234 件
他の子供の学校行事の場合の援助	37 件	53 件
保護者等の買い物等外出の場合の援助	60 件	49 件
保護者の病気、その他休養の場合の援助等	11 件	36 件
合 計	503 件	805 件

<協力会員定例会>

開 催	内 容	会 場	参 加
4/8	共通理解と意見交換	託児室（うえるきっず）	8 名
6/24	共通理解と意見交換	あそびの広場	13 名
3/3	共通理解と意見交換	下妻市役所旧第二庁舎	15 名

<協力会員研修会および交流会> *あおぞらサービスと合同開催*

開 催	内 容	会 場	参 加
5/20	協力会員交流会	野田市グリコピア	28 名
7/29	支援や配慮が必要な子の対応	市役所旧第二庁舎 3 階	15 名
12/2	子どものあそび	市役所旧第二庁舎 2 階	11 名
2/10	救命救急	市役所旧第二庁舎 2 階	14 名



ファミサポ通信



あおぞら・ファミサポ協力会員交流会

(2)地域子育て支援事業

- ・社協移転に伴い、未就学児の親子が気軽に集い自由に遊べる場として『あそびの広場』を開設しました。
- ・支援を必要とする子育て世帯に対し、関係機関・団体等と連携し食糧支援や制服譲渡（4件）などを行いました。
- ・市内の子育てに関連する団体や企業、関係機関等20団体の協働による防災イベントをイオンモール下妻にて開催しました。

＜あそびの広場利用実績＞

	開催	延利用者数	備考
あそびの広場 （自由あそび）	月曜日～金曜日 9:00～16:00	保護者 178人 子ども 217人	R7年9月より開始
教室・講座 サロン等	57回	保護者 238人 子ども 275人	サロン（月1回） 主催：下妻市更生保護女性会

＜防災イベントおよび講座＞

開催	内容	会場	参加
10/4	防災イベント わくわくみんなの防災ハロウィン 2025	イオンモール下妻	1657名
3/17	講座 親子でたのしくリズム遊び	あそびの広場	親子 18組



協力団体のみなさん～防災ハロウィン～



親子でたのしくリズム遊び

＜生活応援セットの配布＞

- ・物価高騰により経済的負担が増えている子育て世帯の生活を応援するため、夏休みと冬休みに食糧品等を配布しました。市内の企業や関係団体からの寄付物品をボランティアの方々に準備・配布の協力をいただき実施しました。

開催日	対象者	配布件数	協力企業・団体	主な配布物
8/6 （水）	要保護 準要保護世帯 児童扶養手当受給世帯	134世帯	5企業 4団体	米 食糧品等の詰め合わせ
12/24 （火）	要保護 準要保護世帯 児童扶養手当受給世帯	136世帯	6企業 2団体	米 クリスマスケーキ チキンセット 菓子 など



配布物（夏）



配布物（冬）

(3) 乳幼児発達相談事業（ポーターシ発達相談事業）一部市補助事業

① 個別相談

発達に偏りや遅れのあるお子さんの保護者に対し、相談員が一人ひとりのお子さんの特性に応じた接し方を助言しました。

年度後半より定員を超えたため、予備日を設け対応しました。

② 親子遊び教室「くれよん」

子どものそれぞれの発達に寄り添い、年齢、国籍、障がいの有無に関らず、違いを排除することなく共に育つことを目的として指導しました。

9月より開催場所をあそびの広場（下妻市役所旧第二庁舎）に変更し実施しました

内 容	開催 (延べ回数)	実利用者数	延べ利用者数
個別相談	月 5 回 (年 57 回)	27 組 (うち新規：11 組)	160 組
(集団指導) 親子あそび教室「くれよん」	月 4 回 (年 45 回)	20 組 (子 25 名 親 20 名)	子 178 名 親 156 名
(講座) からだを使って親子であそぼう	9 月 21 日	8 組	子 10 名 親 12 名

(4) 在宅福祉サービスセンター事業（あおぞらサービス）市受託事業

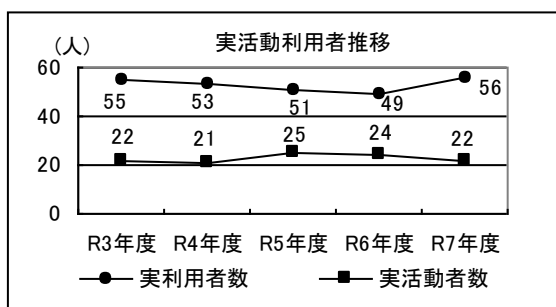
協力会員の資質向上や増員を目的として、ファミリーサポートセンター事業と合同で研修会および交流会を実施しました。また、新規会員登録として協力会員 3 名、利用会員 22 名が増員しました

< 研修会・交流会 > 【ファミリーサポートセンター事業合同開催】

開 催	内 容	参加人数
5/20	協力会員合同交流会 (野田市グリコピア)	28名
2/10	救命救急講習	14名

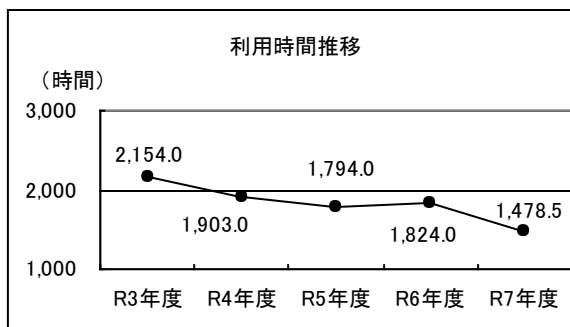
<会員状況>

利用会員	登録会員	97 名
	実利用者	56 名
協力会員	登録会員	79 名
	実活動者	22 名



<利用状況>

内 容	計
家事支援	1288.0時間
話し相手	66.5時間
通院介助	79.0時間
その他	45.0時間
合計	1478.5時間



(5) 生活支援体制整備事業

<生活ニーズの把握>

- 民生委員や自治区長、地域と連携し生活支援を必要とする対象者やニーズの把握に努めました。また、地域のサロンや集いの場などに参加し、顔の見える関係づくりに努めました。

内 容	件数
日常生活上の困りごと等、個別事例の相談受付	63 件
地域のサロンや集いの場等への参加	26 件
第2層協議体メンバーからの情報提供（年 12 回×3 地区）	36 回
自立支援型個別ケア会議への参加	5 回
生活支援を必要とする個人宅へ訪問	随時訪問

<地域に不足するサービスの創出>

種 目	内容／団体	対象エリア（地区）
高齢者サロン	「鯨おたのしみ会」	千代川地区（鯨）
移動支援	「おせっ会」活動内容の追加	市内

<サービスの担い手の養成>

内 容	参加者
移動支援サービス導入に向けた zoom 研修会への参加	おせっ会 2 名
令和7年度 地域づくり講演会の開催	一般 78 名
スクエアステップリーダー養成講座 [VC 事業と連携]	一般 19 名
介護助手養成講座（主催：県社協）の開催に協力	

<高齢者等の活動の場の確保>

- ・スクエアステップリーダー養成講習修了者 19 名を新たな「担い手」として地域の介護予防教室での活動につなげました。
- ・新たに地域活動やボランティア活動、集いの場への参加を希望する市民に対し、活動先の紹介等随時対応をおこない社会参加の推進を図りました。

<地縁関係者等多様な主体への協力依頼及び関係者間のネットワークの構築>

- ・社協・民児協情報交換会（年2回）や民児協定例会への参加、ボランティア団体や地域活動団体等の活動の場へ訪問し協力を働きかけました。
- ・地域の集いの場（お宝）へ（26ヶ所）訪問。「お宝」で紹介した「駄菓子 to お茶の間日和」が市地域包括支援センターとの連携によりオレンジカフェとなりました。

<ニーズとサービスのマッチング>

- ・相談を受付けた高齢者宅を訪問し、民生委員や市地域包括支援センターと連携しながらささえあい活動や配食サービスや愛の定期便等、ひとり暮らし高齢者サービスに繋ぎ支援しました。

在宅福祉サービスセンター事業	35 件
支えあい活動（おせっ会）等へ	24 件

<協議体の設置及び運営>

- ・第1層協議体（地域ケア会議兼）
第2層協議体での活動を報告しました
年2回開催（第1回：10/30開催 第2回：2/5開催）
- ・第2層協議体
地域住民が主体的に運営できるよう努めました。

地 区	開催場所	開催日	開催回数	参加者
下妻地区協議体	福祉センター砂沼荘	第3(水) 13:30～	12回	89人
東部地区協議体	市役所会議室	第2(月) 13:30～	12回	125人
千代川地区協議体	千代川公民館	第4(火) 9:30～	12回	106人

<研修・講演会>

新たな担い手の養成と住民同士の支えあい活動の推進を図るため開催しました

開催日	研修名	内容	参加者
7/18 (金)	地域のお宝発表会（zoom研修） 主催：CLC	対象：協議体（3地区） 会場：社協 ボランティアセンター	16名
2/7 (土)	地域づくり講演会（兼） 『むすぶ手・つなぐ手』 ご近所福祉クリエーター 酒井 保	対象：一般・協議体 会場：下妻市立図書館	78名
8/25 (月)	自分たちにできる防災について考える 講師：市危機管理室	対象：東部地区協議体 会場：旧第二庁舎 大会議室	11名

＜広報・啓発＞

- ・地域の活動や社会資源等を紹介し事業の周知と啓発を図りました。
- ・社協 HP に社会資源を可視化した社会資源マップを掲載し随時更新しました。
- ・社協広報紙「ふくしものがたり」（A4・2P） 年4回/全戸配布
- ・イベント等でのチラシの配布や社協HPを通じて、「地域のお宝」として 22 件を紹介し、また年度毎に「地域のお宝」を冊子にまとめ集いの場等にて配布しました。

(6) ささえあい推進事業

- ・活動内容の提案や拠点施設の予約申請などサロン活動を支援しました。
- ・地域ささえあい活動や地域活動を考える市民に対し、活動内容の相談支援を行いました。
- ・パンフレットや広報誌の他、ホームページに専用のページを作成し、各地域で取組んでいるサロンやささえあい活動、集いの場を紹介しました。
- ・ひとり暮らし高齢者の方の見守りの一環として、心のふれあいを目的とした季節感のある絵手紙や、民生委員児童委員連絡協議会の協力のもとカレンダーをお届けしました。

＜ふれあいサロン開設状況＞ 概ね 65 歳以上の高齢者対象

サロン名称	地区	会員数	回数	延べ参加人数
小友会	小野子	16名	38回	379名
坂本サロン	坂本	10名	12回	65名
いきいきサロンさぬま	長塚	8名	22回	160名
サロン陽だまり	大宝	25名	19回	302名
比毛サロン	比毛	11名	12回	101名
食と健康のサロンin下妻	三道地	30名	49回	529名
上宿お楽しみの会	上宿	15名	11回	141名
横根スクエアステップの会	横根	18名	20回	118名
稲穂の会	平川戸	12名	24回	244名
大宝スクエアステップの会	大宝	22名	12回	134名
ふれあいサロン	下妻	12名	15回	113名
通いの場 おれんぢ会	小野子	10名	41回	234名
千代川スクエアステップの会	千代川	44名	22回	418回
いきいきサロン皆葉	皆葉	23名	25回	503名
鯨おたのしみ会	鯨	17名	12回	100名
計（15サロン）		273名	334回	3,541名

新規 1 ヶ所 退会 0 ヶ所

＜子育てサロン開催状況＞

サロン名称	会 場	回数	延べ参加人数
子育て支援ひまわり会	あそびの広場 (下妻市役所旧第二庁舎2階)	11回	157名
親子サークルひまわり	勤労青少年ホーム 他	12回	206名
計（2サロン）		23回	363名

<社協主催 スクエアステップ教室>

会 場	会員数	回数	参加人数（延べ）
砂沼荘	64 名	47 回	1,167 名
リフレ こかい	11 名	24 回	179 名
計 （2 か所）	75 名	71 回	1,346 名

<ふれあいいきいきサロン連絡会・研修>

各サロンの代表者等と個人登録ボランティア合同の交流会を開催し、サロンでも活用できるレクレーション「ボッチャ」の体験と情報交換を行いました。

<地域ささえあい活動>

地域で活動している団体や集いの場を訪問し、社会資源として紹介しました。

訪問回数	26 回
紹介件数	22 件



社協広報誌 「しもつまコミュニティ」



社協ホームページ「地域の活動」

<ふれあいお届け>

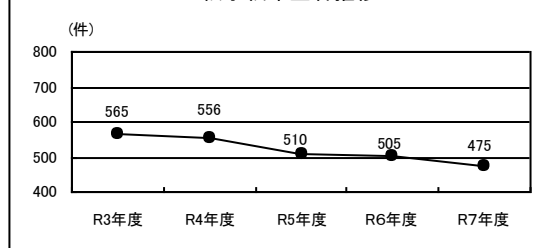
① 絵手紙

実施月	件数
8 月	231 件
12 月	244 件
計	475 件

※書き損じハガキを活用

※市内小学校、ボランティアの協力により作成
下妻小学校4年生児童
絵手紙教室コスモス、さくら会

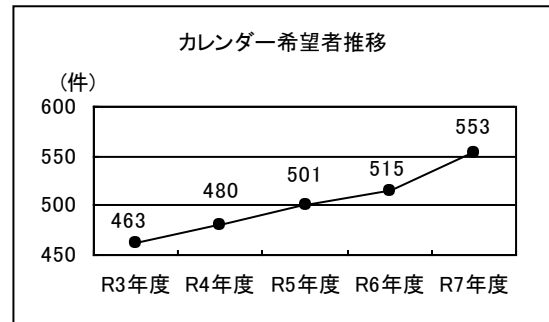
絵手紙希望者推移



②社協オリジナルカレンダー

実施月	件数
12月	553件

※民生委員児童委員協議会にご協力をいただき配布しました。



③災害備蓄品（R7年度より実施）

実施月	件数
8月	724件

※民生委員児童委員協議会にご協力をいただき長期保存食を配布しました。

3. 助成事業

(1)地域福祉助成事業

社協広報紙、チラシ、ホームページを活用し事業の周知を図りました。

①＜助成実績＞

時期	No.	申請事業	団体名	決定額
第2期	1	どんど焼き	青少年を育てる下妻市民の会 高道祖支部	200,000円
	2	集会施設の環境整備事業	鎌庭東自治区	195,000円
	3	郷土の歴史展と学習会	豊加美歴史研究会	80,000円
計				475,000円

②下妻市防災ラジオ購入助成金事業

下妻市が実施した防災ラジオの頒布に際し、市民の購入負担金の軽減措置として、1台につき1,000円の助成を行いました。

助成単価	件数	総額
@1,000円	15件	15,000円

(2)地域福祉活動支援事業

住民同士が参加・協力して取り組む住み良いまちづくり事業を行う団体並びに当事者団体活動の支援を目的に助成金を配分しました。

＜助成実績＞

No.	申請事業	決定額
1	総上納涼盆踊り&屋台村	100,000円
2	とばのえ子ども夏まつり事業	100,000円
3	かみつま朝市開催事業	100,000円
4	心身障害児者父母の会レクリエーション事業	71,000円
計		371,000円

(3) 活動助成事業

地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各支部及び下記の各団体に助成金を配分しました。

<団体助成金>

助成先	件数	金額
支部社協	8件	1,730,000円
自治区長連合会	1件	311,980円
民生委員児童委員協議会	1件	246,000円
合 計	10件	2,287,980円

(4) 地域災害対策物品助成事業

災害発生時の停電や断水による電源、トイレ問題を一時的に解決するため、公民館等を有する自治会や自主防災組織から申請のあった 41 地区（予定数 25）に蓄電池、非常用トイレ及びトイレ用テント、凝固剤を現物で供与し地域の防災力向上に寄与しました。

<助成実績>

区分	R7	R6
下妻中学校区	14 件	8 件
東部中学校区	15 件	12 件
千代川中学校区	12 件	5 件
合 計	41 件	25 件



凝固剤

蓄電池



テント 非常用トイレ

【ボランティアセンター事業】

1. ボランティア活動事業

(1) 相談・登録・広報啓発

① ボランティアの状況

種 別	団体数	会員数
登 録		
個人	—	67 名
団体	19 団体	334 名
把握（届出）団体	13 団体	996 名
計	32 団体	1,397 名

② ボランティアの相談・登録・紹介

内 容	件 数
ボランティア活動希望	10 件
ボランティア活動依頼	12 件
福祉教育支援・他	40 件
活動者相談・情報提供	9 件
保険・物品・その他	9 件

③ボランティアセンターの広報・啓発

- ・ノベルティグッズの作成や広報紙等を通じ、ボランティアセンターをPRしました。
- ・防災訓練やイベントの場において災害ボランティアセンターをPRしました。

開催日	内 容	対 象
8/19	高校生と行く防災バスツアー	小学生及び高校生
9/20	つながる 24 遊防災フェス 2025	一般
10/4	わくわくみんなの防災ハロウィン	一般
11/8	騰波ノ江地区防災訓練	騰波ノ江地区参加者
11/22	下妻市総合防災訓練（下妻地区）	社協ブース体験者
3/7	災害ボランティアセンター運営訓練	一般及び関係団体



防災サコッシュ6点セット



非常用トイレ

(2) ボランティア活動助成事業

＜ボランティア活動助成＞

申請者	助成件数	助成額
サークル	9団体	270,000円
ボ連協	1団体	50,000円
学 校	12校	416,000円
計	22件	736,000円

※ボ連協：下妻ボランティア連絡協議会
（11 サークル加入）

＜ボランティア活動保険加入状況＞

種 別	加入者数	助成額
登録団体・個人	288 名	57,600 円
把握団体・個人等	976 名	—
災害ボランティア 個人	1 名	—
計	1,265 名	57,600 円

(3) ボランティア養成事業

- ・地域で活躍するボランティアを育成するため、スクエアステップリーダー養成講習会を開催。講習修了者 19 名を新たな「担い手」として地域の介護予防教室での活動につなげました。

- ・若年層がボランティア活動へ参加するきっかけとなるよう、市内の高校と連携し小学生を対象とした防災学習での引率活動や防災イベント等に参加を呼びかけ実施。学生ボランティアの育成に努めました。
- ・下妻ボランティア連絡協議会の事業として、会員同士の交流を目的に「砂沼を歩こう会」を開催しました。また、市内で個々に活動をしているボランティアといきいきサロン世話人を対象とし、情報交換の場として合同交流会を開催しました。

<福祉教育・ボランティア養成講座>

開催日	講座名	場所	対象	人数
8/19	高校生と行く防災バスツアー	東京消防庁 本所防災館	小学3年生以上の児童 高校生ボランティア	児童19名 高校生8名
11/7～ (全4回)	スクエアステップリーダー 養成講座	下妻公民館	一般	20名 (認定者19名)



東京消防庁 本所防災館 防災体験ツアー



スクエアステップリーダー養成講座

<研修・交流会>

開催日	講座名	内容	参加
10/25	ボ連協主催 会員交流会 「砂沼を歩こう会」	対象：下妻ボランティア連絡協議会 会員 会場：福祉センター砂沼荘	89名
3/5	個人登録ボランティア・ いきいきサロン世話人 合同交流会	内容：ニュースポーツ体験会 対象：個人登録ボランティアサロン代表者 会場：福祉センター砂沼荘	36名



下妻ボランティア連絡協議会「砂沼を歩こう会」



個人登録ボランティア・いきいきサロン
合同交流会

2. 福祉教育支援事業

市内小中学校において福祉教育を実施した他、小学校が主催する親子イベントにおいて、地域のボランティアの方々との交流や親子で共に学べる福祉教育を実施しました。

種別	障害者・高齢者理解						地域共生・福祉理解			防災学習			その他	計
	アイマスク	手話	点字	シニア体験	車いす	盲導犬	昔話	講話	傾聴	マイ・タイムライン 作成	フォスコード ブーム	避難所重宝 ブーム		
実施件数	4	6	6	1	3	3	1	4	1	3	2	1	5	40件
体験者数	161	198	230	88	108	74	9	134	60	110	102	56	324	1654人
V協力延数	18	40	30	8	20	3	5	-	8	5	-	12	-	149人



3. 善意銀行

(1) 善意銀行

預託金	使途内容	件数	金額
寄付金	地域福祉のために	39件	1,239,057円
未使用切手	地域福祉のために	1件	1,588円分

種 類	使途内容	預託件数
古切手	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターへ寄付し、アジアやアフリカの医療従事者派遣に役立てられます	94件
書き損じハガキ	官製ハガキに交換し、ひとり暮らし高齢者へ絵手紙を届けます	13件
預託品 (未使用タオル、 大人用紙おむつ他)	必要としている事業所・施設、個人に提供し、役立てられます	44件

(2) フードバンク事業

- ・フードバンク事業周知のため、広報紙や SNS 等での広報啓発に努めました。
- ・地域貢献活動の一環として行われている企業のフードドライブ活動では、市内 9 店舗が参加協力、また、食品の回収においては市内の福祉事業所や、介護サービス事業所に協力をいただき、活動に参加しやすい環境を整えました。

【寄付の状況】

寄 付		回 数
NPO法人 フードバンク茨城		6 回
(株)Parker TAIYO		2 回
(株)カスミ 市内4店舗		65 回
(株)カスミ フードドライブ 市内2店舗 (うち1店舗は令和7年5月設置)		15 回
ファミリーマート 市内7店舗 (ファミマフードドライブ)		66 回
き ず な B O X	市役所本庁舎	23 回
	市立図書館	15 回
	下妻公民館	14 回
	大宝公民館	6 回
	千代川公民館	10 回
	福祉センター砂沼荘	2 回
	(株)TAIYO	6 回
	JA 常総ひかり下妻支店	5 回
	JA 常総ひかり下妻千代川支店	8 回

【配布先の状況】

配布先	件数・回数 (延べ)
個 人	160 件
市内放課後児童クラブ	8 回
市内児童養護施設	2 回
市内福祉サービス事業所	10 回
お茶 NOMA	8 回
生活応援セット	2 回

4. 災害ボランティアセンター

- ・社協職員が迅速に災害ボランティアセンターの設置・運営を行えるよう、災害時協定締結団体・法人連携団体・個人ボランティア・関係機関等と協働型災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました。
- ・小、中学校や地域において、災害ボランティアセンターの周知に努めました。



災害ボランティアセンター運営訓練

<研修等への職員参加>

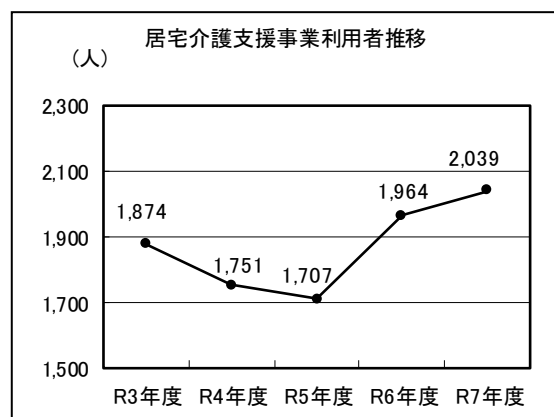
内 容	参加
下妻市水害対応避難訓練（6/1 鬼怒川洪水浸水想定）	2 名
茨城県主催 第 2 回茨城県災害対応勉強会	1 名
県社協主催 日本財団災害ボランティアトレーニングセンター（VTC）見学会	2 名
県社協主催 第 3 回茨城県災害対応勉強会	1 名
県社協主催 茨城県内社協職員災害初動期対応チーム マネジメント編 研修	2 名
全社協主催 災害ボランティアセンターマネジメント研修会	1 名
下妻市総合防災訓練（11/22 東部地区）	5 名
全社協主催 災害ボランティアセンターマネジメント研修会	1 名
県社協主催 企業×災害ボランティアセンターを考える勉強会	2 名
県社協主催 茨城県内社協職員災害初動期対応チーム ICT 編 研修	2 名
下妻市災害対策本部図上訓練（1/31 市庁舎）	2 名

【介護保険等事業】

1. 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業

- ・実績としては増加しましたが要支援の利用が増え要介護の利用は減少しました。
- ・要支援の利用者に合わせた重度化予防と自立支援のマネジメントに取り組みました。

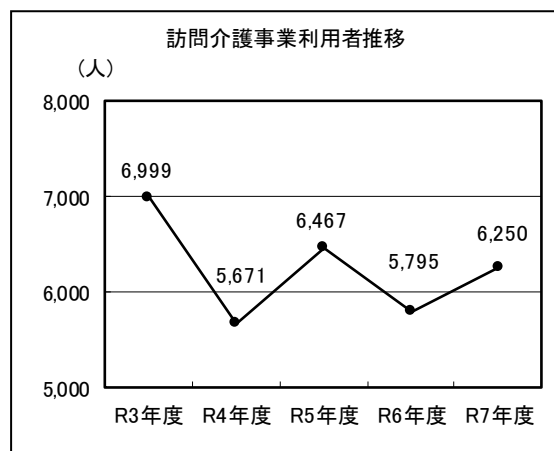
区分	延べ利用者
要支援 1	277 名
要支援 2	265 名
要介護 1	662 名
要介護 2	349 名
要介護 3	260 名
要介護 4	140 名
要介護 5	86 名
計	2,039 名



2. 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

- ・少ない職員で稼働率を意識し実績の向上が図れました。
- ・新たな人員の確保には至りませんでした。

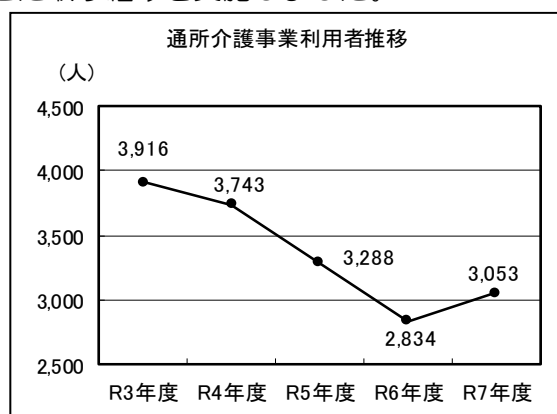
区分	延べ利用者
要支援 1	267 名
要支援 2	426 名
要介護 1	1,403 名
要介護 2	948 名
要介護 3	625 名
要介護 4	991 名
要介護 5	1,590 名
計	6,250 名



3. 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業

- ・実績としては増加しましたが要支援の利用が増え要介護の利用は減少しました。
- ・新たな企画を立案し利用者のニーズに合わせた取り組みを実施しました。

区分	延べ利用者
要支援 1	189 名
要支援 2	227 名
要介護 1	1,310 名
要介護 2	396 名
要介護 3	686 名
要介護 4	232 名
要介護 5	13 名
計	3,053 名

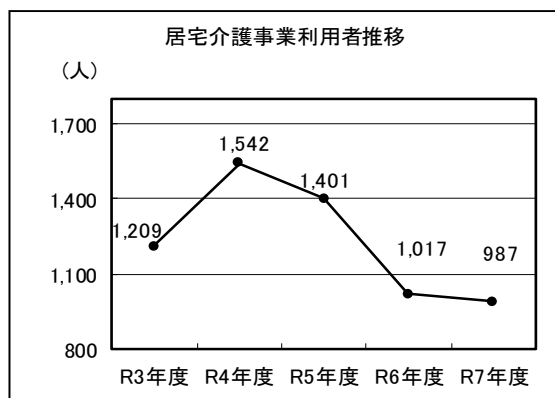


【障害者総合支援事業】

1. 居宅介護事業

- ・利用者は同数でしたが回数が減ったことで若干の減少となりました。

区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	0 名
区分 3	389 名
区分 4	220 名
区分 5	0 名
区分 6	378 名
児 童	0 名
計	987 名



2. 重度訪問介護事業・行動援護事業

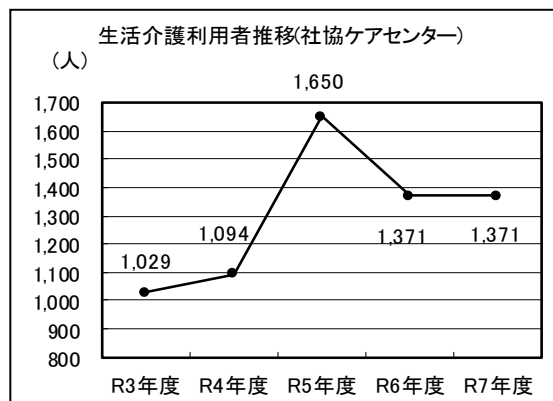
- ・両事業とも対象となるケースがなく、実績はありませんでした。

3. 生活介護事業

＜社協ケアセンター＞

- ・昨年と同じ実績で増加には至りませんでした。

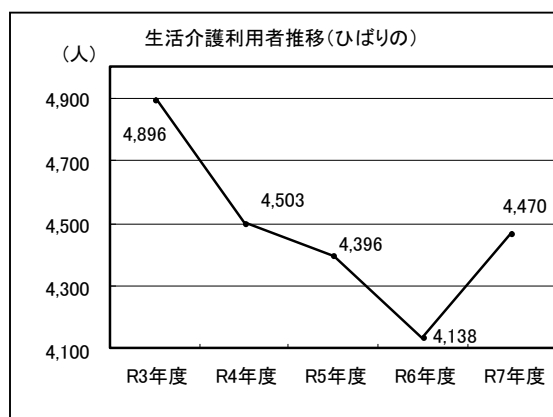
区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	0 名
区分 3	564 名
区分 4	461 名
区分 5	0 名
区分 6	346 名
計	1,371 名



＜ひばりの＞

- ・3月に長期欠席1名ありました。
- ・年間を通じてコロナ感染等により長期静養した方はいなかったため、延べ利用者数が増加しました。

区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	0 名
区分 3	111 名
区分 4	1,659 名
区分 5	1,653 名
区分 6	1,047 名
計	4,470 名



4. 障害者日中一時支援事業

- ・特別支援学校等の長期休暇期間及び休日等に一時的預かりの実績はありませんでした。

※令和3年度から令和7年度間の実績はありません。